

5月の院内学級

4・5月に院内学級で行った活動の中で特に人気があったのはアイロンビーズでした。作る形や色に子どもたちの個性が光ります。全ての色を使ってカラフルな作品を作る子もいれば、好きなキャラクターをそっくりにする子もいて、素敵な作品がたくさんできました。入院生活の長い時間の中で、少しでも痛さや辛さを忘れ夢中になれる時間があることはとても大事なことです。特に手術を終えたばかりで落ち込んでいる子どもたちにとって癒しの時間となり、前向きな気持ちに切り替えるきっかけとなる大切な時間といえます。完成した作品は、お土産として子どもが持って帰り、紐を通して病室に飾る子どももいました。

5月の院内学級学習園では、サツマイモの苗を植えたり、ヒマワリの種をまいたりしました。元気に育ってほしいです。

